

設計品質の向上を実現するための

幾何公差

～幾何公差の狙い、データム、幾何公差の種類、最大実体公差まで～

ZOOMセミナー

LIVE配信のみ
(録画視聴なし)

★日時：2026年3月5日（木）10:00～16:30

★会場：WEB受講のみ（Zoomシステム）

※LIVE配信のみ

★受講料：1名 49,500円（消費税込）

同一セミナー同一企業同時複数人数申込みの場合 1名44,000円

★受講資料：製本テキスト（受講料に含む）

※別途テキストの送付先1件につき、配送料1,210円（内税）

JISを踏まえ、データム設定の勘どころ、各幾何公差特性の使い分け、寸法公差との関係、最大実体公差方式の解釈について、開発設計から量産までの豊富な経験に基づいて実務的に解説する特別セミナー！！

【講師の言葉】

本研修では、主題を「幾何公差」とし、副題に掲げるとおり、幾何公差の狙い、データムの考え方、幾何公差の全ての種類、そして最大実体公差方式までを解説します。対象は、日常的に図面を描く設計者および、その図面を基に工程設計・量産立上げを担う生産技術者です。

幾何公差は、単に規格を知っているだけではなく、「なぜその公差を指示するのか」という設計意図を明確にし、それを製造や検査へ伝えることが重要です。

本研修では、JIS（日本産業規格）を踏まえ、データム設定の勘どころ、各幾何公差特性の使い分け、寸法公差との関係、最大実体公差方式の解釈を、講師の開発設計から量産までの経験を踏まえ実務目線で解説します。設計品質の向上を目指し、設計者と生産技術者が共通言語として幾何公差を使いこなすための研修です。

【受講形式】WEB受講のみ ※本セミナーは、Zoomシステムを利用したオンライン配信となります。

※Live配信のみ（録画視聴はありません）

【予備知識】 製図の基礎知識のある方が望ましい

【受講対象】 幾何公差を業務で必要とする方、幾何公差を学びたい方

【習得知識】 1) JIS（日本産業規格）の幾何公差を学ぶことが出来ます

2) 具体的には、幾何公差の全ての種類

3) データム

4) 最大・最小実体公差方式 など

【講師】 株式会社ワールドテック 代表取締役社長 寺倉 修先生 元 デンソー

I. GPSと国際動向

II. 幾何公差の狙い

III. 幾何公差域と特性

1. 公差域の決め方
2. 公差域の種類
3. 幾何公差特性の種類

IV. データム

1. データムとは
2. データムの確立法
3. データムの図示法
4. 3平面データム系
5. データムターゲット

V. 幾何公差

1. 図示法
2. 幾何公差の定義及び図面指示法
 - (1) 形状公差
 - (2) 姿勢公差
 - (3) 位置公差
 - (4) 振れ公差
3. 幾何公差と寸法公差

VI. 最大実体・最小実体公差方式

1. 包絡の条件
2. 最大実体・最小実体公差方式の定義
3. 最大実体公差方式の解釈
4. ゼロ位置度
5. 最小実体公差方式の解釈
6. 突出公差域

VII. 幾何公差の勘どころ

質疑・応答

◆セミナーお申込要領

- ・弊社ホームページの申込欄又は、E-mailかFAXにてお申し込みください。
- ・受付後、受講票・請求書等をメールで送信します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

◆申込書：2026年3月5日：セミナー

会社名： 部署名：

住所：

TEL： FAX：

氏名：

Email：

◆申込先

TH企画セミナーセンター 

株式会社TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル5F

TEL: 03-6435-1138 FAX: 03-6435-3685

Email: th@thplan.com

URL: <https://www.thplan.com/>

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

検索

TH企画

→

サイト内
キーワード検索

0305
(開催日)